愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	安藤 真澄	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「ネットに振り回されない、ネットの海に溺れない」 一日中スマホに触っている人はソーシャルネットワークにずっとつながっていることになります。そこでは情報を得ると同時に自分の情報をコンテンツ提供者やプラットフォームに渡しています。中でもSNSには、悪意をもってデマを流したり、たとえ善意であっても間違った情報を流す人々があります。インターネットを有効に利用するためには、インターネットの仕組みと特性を理解し、デジタルリテラシーを身につけ、ネットに振り回されないと同時にネットに不確かな情報を流さないという姿勢が大切になります。本演習ではそのようなネットリテラシーの基本を身につけることを目指します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	専門演習Ⅰではインターネット社会の特徴や問題点を理解するところから始める。講義と文献や記事の読解を並行して進め、事実と自分の意見を区別して記述できる力を見につける。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション 自己紹介(教師、学生) ゼミの進め方	ゼミで何を学びたいのか	☐
第2回	インターネット利用の現状を知る	さまざまなデータからインターネット社会の現実にアプローチする	☐
第3回	検索エンジンの仕組みを知る	「ググレ」と言われても人によって検索結果は異なっている。それはなぜか。どうすれば検索精度を上げられるのか。	☐
第4回	EC (Electronic Commerce : 電子商取引のこと。要はネット通販) の仕組みを知る	デジタルマーケティングの裏側でどんなことが行われているのか。自分の嗜好がどうマーケティングに利用されているのか。	☐
第5回	SNS (Social Networking Service) とは何か	SNSの種類と個々の特徴を知る。	☐
第6回	インターネットの利用経験	インターネットを利用して困ったこと、怖かったこと、よかったこと等の個人的な体験の共有となぜそのようなことが起こるのかを知る	☐
第7回	前半のまとめ	前半のまとめと振り返り	☐
第8回	図書館の使い方	図書館の使い方の再確認 前期で読破する文献を決める その文献の紹介を期末にパワポでプレゼンする	☐
第9回	インターネットに関するトピックスの理解と解釈	ネット関連の文献やニュースを紹介するので、そこに書いてある事実は何か、自分はそれについてどう考えるかを記述して、発表する。	☐
第10回	インターネットに関するトピックスの理解と解釈	ネット関連の文献やニュースを紹介するので、そこに書いてある事実は何か、自分はそれについてどう考えるかを記述して、発表する。	☐
第11回	インターネットに関するトピックスの理解と解釈	ネット関連の文献やニュースを紹介するので、そこに書いてある事実は何か、自分はそれについてどう考えるかを記述して、発表する。	☐
第12回	インターネットに関するトピックスの理解と解釈	ネット関連の文献やニュースを紹介するので、そこに書いてある事実は何か、自分はそれについてどう考えるかを記述して、発表する。	☐
第13回	インターネットに関するトピックスの理解と解釈	ネット関連の文献やニュースを紹介するので、そこに書いてある事実は何か、自分はそれについてどう考えるかを記述して、発表する。	☐
第14回	「一押しの本」の紹介	自分が前期に読破した本の内容の紹介とこの本を押す理由(どこがおもしろいのか、どこが役に立つのか等)の紹介をパワポで行う	☐

第15回	「一押しの本」の紹介	自分が前期に読破した本の内容の紹介とこの本を押す理由（どこがおもしろいのか、どこが役に立つのか等）の紹介をパワーポで行う	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)   日頃からインターネットユーザーの行動に関心を持っておく。単なるユーザーではなく、インターネットビジネスをする側が何を目的としているかを考える。配布される資料を読み込み、わからないところは自分で調べる（4時間）。授業で学んだ内容を確認する（1時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)   適宜課題を出し、必要に応じてフィードバックを行います。質問は次の講義で共有します。後半は文献やニュース資料を配布するので、それについて事実を整理し、自分の意見を記述します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	インターネットの仕組みを理解し、インターネット自体の課題やインターネット上の言説の問題点について指摘し、インターネットを活用するにはどうすべきかを考え、行動できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業中に課せられる課題の内容、プレゼン内容、授業への参加姿勢等で総合的に判断します。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要な資料は適宜配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	一田和樹・齊藤孝道・藤村厚夫・藤代裕之・笹原和俊・佐々木孝博・川口貴久・岩井博樹『ネット世論操作とデジタル影響工作 「見えざる手」を可視化する』原書房、2023	9784562072561
2	坂本旬・山脇岳志『吟味思考を育むメディアリテラシー』時事通信社、2022年	9784788717978
3	シナン・アラル、夏目大訳『デマの影響力』ダイヤモンド社、2022年	9784478104873
4	吉野ヒロ子『炎上する社会』弘文堂、2021年	9784335552038
5	山口真一『ソーシャルメディア解体全書』勁草書房、2022年	9784326603503